

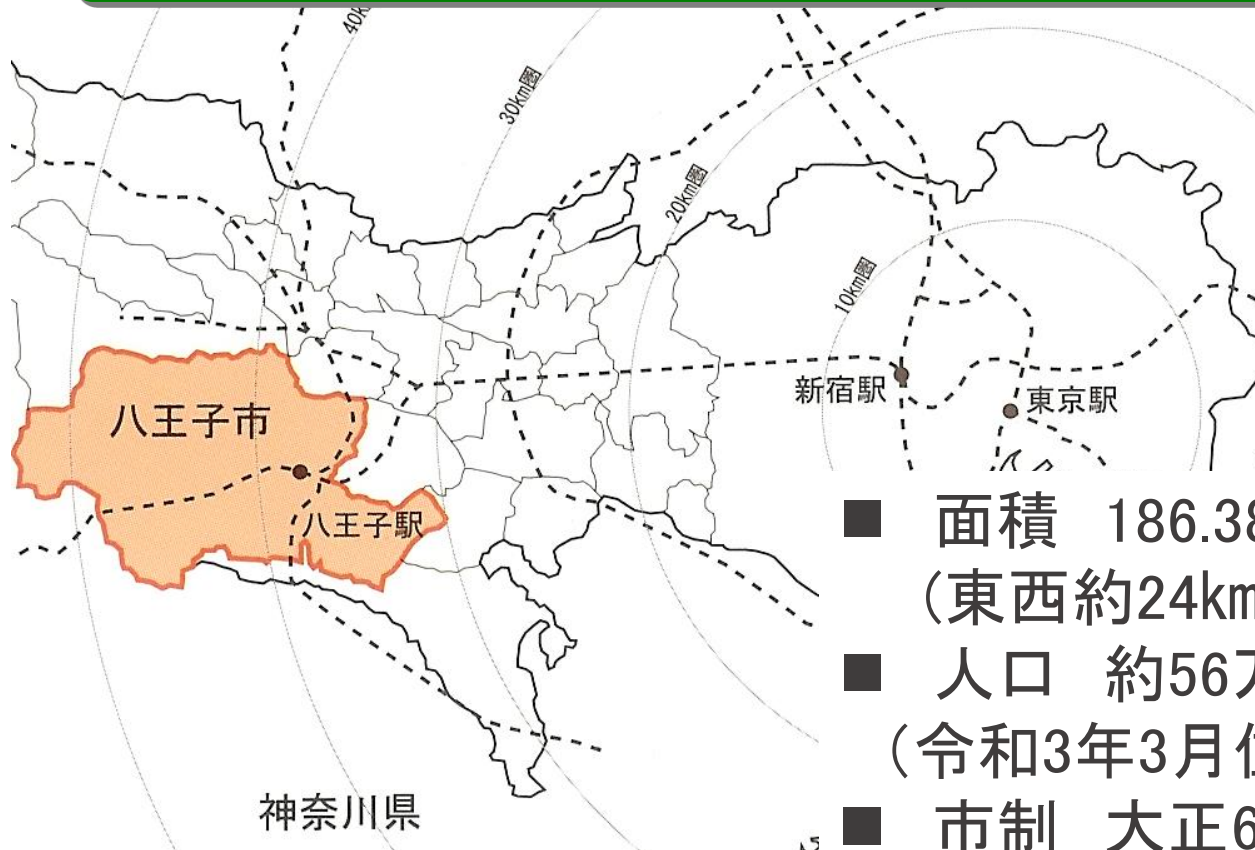
第3回「地域公共交通の姿を考える行政連絡会」 八王子市の取組み

令和3年（2021年）10月26日
八王子市都市計画部交通企画課

1. 八王子市の概況

【位置】 東京都の西部、都心から40km

【面積】 約186km²(東京都の約1割、都下第2位)



- 面積 186.38km²
(東西約24km、南北約13km)
- 人口 約56万人
(令和3年3月住民基本台帳)
- 市制 大正6年9月1日
(関東で8番目)

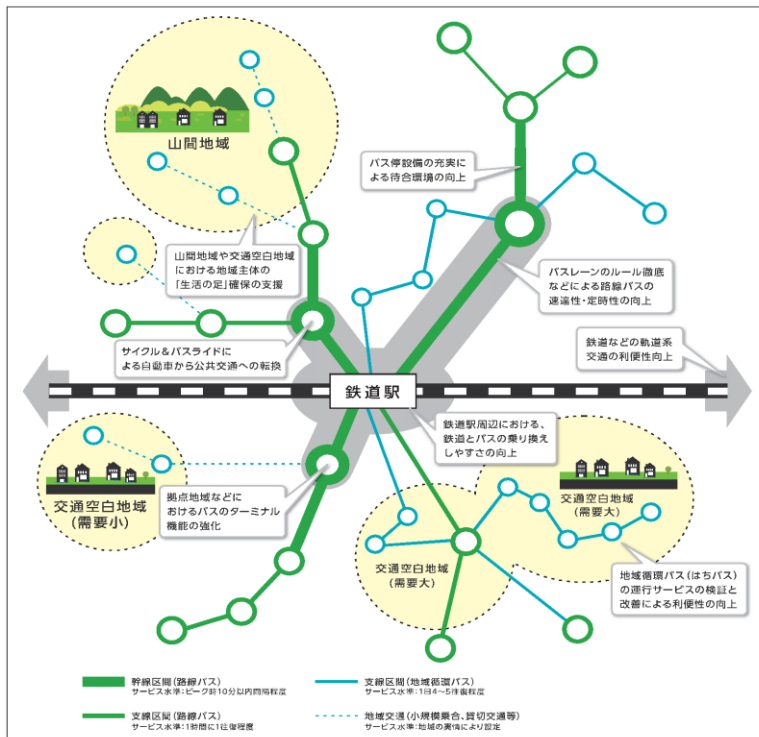
2. 八王子市の公共交通に関する計画

■ 八王子市交通マスタープラン

公共交通の目指すべき姿

- ・地域の実情に応じた様々な公共交通手段を維持できる仕組みをつくり、市民にとって使いやすい公共交通システムの構築を目指します。
- ・交通空白地域が解消され、市民の利便性が高まる移動環境の実現を目指します。

〈公共交通政策の展開イメージ〉



■ 八王子市交通公共交通計画

基本目標1 わかりやすく利便性の高い公共交通ネットワークの構築

～中心拠点や地域・生活拠点の移動しやすい環境づくりを進めます～

- ①「公共交通軸」の設定と路線の強化
 - ・公共交通網の再構築による効率的な運行・運営を行います。
- ②わかりやすく利便性の高い公共交通ネットワークの構築
 - ・バスの利便性を高め、より使いやすいバスとなるよう、バスの案内の充実、乗り換えしやすいターミナルの設置を促進します。

基本目標2 路線バスのサービス強化による利便性の向上

～使いやすく便利な路線バスとすることで、利用者の増加を図ります～

- ①バス停やバスの利便性向上により、利用しやすいバスへの取組の推進
 - ・高齢者など誰でも快適に、使いやすい路線バスとするため、駅などの交通結節点を強化（バス乗継所）します。
 - ・路線バスの定時性、速達性の向上により、利便性の向上を図ります。
- ②乗りやすさや PR による、乗ってもらいやすい環境づくりの推進
 - ・低床型バス車両の導入、バス停機能の充実、バス情報の提供、PR するなど、多様な施策を進めます。

基本目標3 多様な交通手段による移動の確保

～様々な交通手段を組み合わせ、移動できる環境づくりを進めます～

- ①交通空白地域や、山間地域における地域交通の充実
 - ・市内の交通空白地域における、地域循環バス「はちバス」の利便性を高めます。
 - ・依然として存在する、山間地域や交通空白地域においては、市民の足となる交通の充実を図ります。
- ②様々なサービスのタクシーの導入促進
 - ・市内でも増加している福祉タクシーをはじめとした、様々なサービスの導入を促進します。
- ③自転車交通との連携強化
 - ・サイクル・アンド・バスライド自転車駐車を整備し、自転車と公共交通への乗り換えの利便性向上を図ります。

基本目標4 移動困難な方の多様な交通環境の充実

～高齢者などの多様な移動環境を整えます～

- 移動が困難な方の多様で高度なニーズに対応した移動サービスの提供
 - ・福祉的な輸送サービスについて、利用者の利便性が確保されるよう取り組みます。
 - ・「予防・介護・医療・生活支援・住まい」に関する多様な支援を一体的かつ継続的に提供する、地域包括ケアシステムの視点を取り入れた効果的な移動サービスに取り組んでいきます。